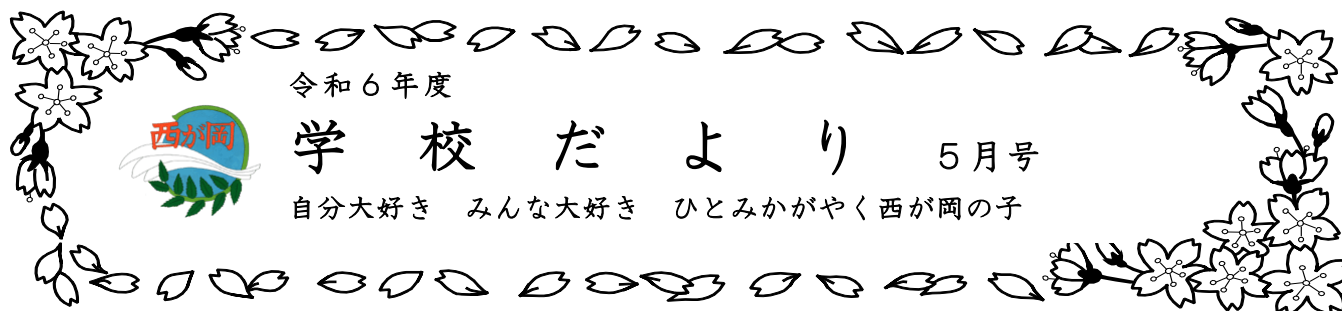


令和6年4月30日



横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡 3-12-11 TEL814-3603
<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>



教育DXによって広がる可能性

校長 佐藤 裕二

昨年度末から移行準備をした保護者と学校との連絡ツール「すぐーる」登録へのご協力につきまして、ありがとうございました。新1年生の登録も終え、すべての学年ですでに運用を始めています。

現在、国の政策として、教育DX(教育デジタルトランスフォーメーション)という取組を進めています。簡単に言うと、教育現場におけるデータやデジタル技術の活用を推進していこうという取組です。この取組を受けて、それまでは学校ごとに決めていた連絡ツール(本校では「マチコミ」)についても、横浜市の全市立学校で同一の連絡ツールを導入し、今年度中に移行することとなりました。これにより、今後、教育委員会からの保護者向け通知なども、デジタルファイルを「すぐーる」に添付して配信するようになります。デジタルでの配信によって印刷物を減らし、ペーパーレス化を推進していくねらいもあるそうです。保護者向けの通知については、紙配付のよさ(目につくところに掲示して子どもと共有できる等)も、データ配付のよさ(どこにいてもスマホで確認できる等)もあると思います。デジタル化に向かっている大きな流れの中で、近隣校の状況なども鑑みながら、本校でも、少しずつデータ配付に移行していこうと考えています。また、日々の連絡帳のやり取りや宿泊学習前の健康観察票の提出など、「すぐーる」で行うことによって個人情報の扱いがより安全になりますので、できるところから取り入れていく予定です。

現在、一人1台配付されているGIGA端末もこの教育DXの取組の一つになります。(1年生はこれから配付されます。)GIGA端末の導入により、日々の授業でも、これまではできなかった様々な学習活動ができるようになり、教育的な効果も上がってきています。昨年度は「端末持ち帰り試行校」となり、夏休み明けから学年の状況に応じてタブレットの持ち帰りを実施しました。宿題、家庭学習の在り方も少しずつ変わろうとしています。今年度からはすべての市立学校で夏休み以降に持ち帰りが可能となりました。その一方で、昨年度の本校の「よりよい学校づくりのアンケート」では、持ち帰りによる課題も意見として出されています。いただいたご意見を考慮しながら、GIGA端末が子どもたちの学習活動にとって効果的に活用されるよう、学校としても引き続き取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。